

〈図画工作科〉 3年

現在の分析

〈造形への関心・意欲・態度〉

- ・興味関心をもって表現活動に取り組んでいる。
- ・自分で集めた材料を生かそうとしたり、自分の思いを形にしようとしたりと、身近な材料を使った造形活動に対して関心が高い。よいと思った表現は、自分の作品に取り込もうとしている。
- ・自分なりのこだわりや、もっとよくしようとする意欲がもてず、集中して活動に取り組めない児童もいる。

〈発想や構想の能力〉

- ・自分の思いを大切にしながら、作品づくりに取り組む姿がみられた。
- ・発想の豊かな児童が多いが、自分の思いがまとまらなかったり、既成のイメージにとらわれて発想をふくらませられなかったりする児童もいた。

〈創造的な技能〉

- ・自分の発想を大切にしてついたり、友達のよい表現を取り入れたりして、工夫して作品づくりをした。

〈鑑賞の能力〉

- ・友達の作品を見合い、友達のよいところを自分の作品に生かそうとしていた。

重点課題

〈造形への関心・意欲・態度〉

- ・活動の取り組みがよい。しかし、自分がイメージしたことに対して最後までこだわって創作活動する児童が少ないことが課題である。

〈発想や構想の能力〉

- ・活動によっては、発想がひろがるよう、安全面も配慮しながら教室以外の場所を設定している。しかし、十分な活動場所の確保が難しい。

〈創造的な技能〉

- ・思いがあるが、それを表す技能をつけることが課題である。

〈鑑賞の能力〉

- ・出来上がった作品だけでなく、作品のつくる段階(材料の使い方の工夫・形や色など)を楽しもうとする姿勢があまり見られないことが課題である。

授業改善策

〈造形への関心・意欲・態度〉

- ・これからも児童が関心や意欲を高められるような参考作品を用意していく。
- ・作品づくりに必要な材料、用具などを十分に準備する。
- ・豊かな発想や一人一人の発想が深められるような雰囲気づくりをしていく。

〈発想や構想の能力〉

- ・自分の手がけたものから、新たな発想を広げ、別の材料を加えたり、飾ったり、合わせ方を工夫したりしながら取り組めるよう声掛けしていく。
- ・楽しい造形活動を発想できるように、試作品を提示したり校庭など児童に身近な場所で活動したりできる環境を作り、工夫していく。

〈創造的な技能〉

- ・児童が表したいことに合わせて、扱いやすい材料や用具を十分な量を準備する。

〈鑑賞の能力〉

- ・友達と作品を見合い、見つけたよさや感じたことをメモなどで伝えて、意欲付けにつなげる。感じたことや思ったことを伝え合う機会をふやしていく。